



▲運転の疲れを癒してくれる休憩所です

夜狩内集落に癒しの水処

ひむか神話街道(林道夜狩内～中山線)夜狩内側の道路沿いにこのほど休憩所が整備されました。これは、夜狩内集落の有志の方々がボランティアで作ったものです。一昨年(2021年)の6月に完成した中山トンネルとともに開通した同街道。現在、県南北を結ぶ観光ルートとしてだけでなく、重要な生活道としても多くの方が利用するようになりました。周辺地域の方々は、交通量が増えたことを機会に、道路を快適に利用してほしいと花を植栽したり、道路を清掃したりとボランティア活動を行っています。

今回、水を飲めるよう手作りの施設を作り、憩いの場を提供していただきました。ぜひ通行の際にはお立ち寄りください。



▲登山者を迎える満開のシャクナゲ

扇山山開き

5月8日、尾八重地区の松木登山道入り口で、扇山(1,661m)の山開きが行われました。初心者でも楽しめる人気の山だけあって、子どもから高齢者まで250人が参加。神事や尾向小緑の少年団による山の誓い、テープカットなどが行われた後、約1間半かけて頂上をめざしました。

扇山は天然シャクナゲの群生地としても有名ですが、登山道には例年以上にたくさんの花が咲き誇り、多くの方が何度も足を止めて見入っていました。また山頂では、参加者のうち最年少の横山巧輝ちゃん(2歳、尾前上)と最高齢の田上保夫さん(82歳、鹿児島県)に、記念品が贈られました。



▲村内各地から出席した組合長の皆さん

村民と行政のパイプ役として

5月10日、村開発センターで平成17年度区長・区長代理・組合長定期総会が行われました。同総会には、村内の10地区95組合の代表の方々が出席。村民憲章朗読や辞令交付などの後、黒木利光区長会会長(梅尾区長)を議長に意見交換会を行いました。これから1年間、地区の運営のほか村民と行政をつなぐパイプ役としてご活躍いただきます。



▲日向土木事務所の事業説明を真剣に聞く沿線住民の皆さん

県道の早期改良を目指して

5月10日、村開発センターで県道上椎葉・湯前線整備促進協議会の総会が行われました。同総会には、議会や行政関係者のほか同沿線に住む、尾八重、尾向、不土野地区の組合長など40人が出席。「地域浮揚はこの道路から」というテーマのもと、今年度の活動計画や予算などについて活発な議論が交わされました。

この路線は、村民の重要な生活道としてだけでなく、熊本県と本村を結ぶ観光道路としても多くの方が利用する道路。台風災害からの早期復旧と改良が期待されています。

